

みんなの町議会



目次

- 9月定例会の概要…………… 2
- 8月豪雨のつめあと…………… 3
- 決算特別委員会…………… 4～5
- 常任委員会の焦点…………… 6～7
- 一般質問に5名登壇…………… 8～13
- 陳情・請願／議会議員全員協議会…………… 14
- あれなんとなつたべが！…………… 15
- 議会を傍聴しました・がんばってます…………… 16

No.152

2022年10月1日

湯ノ又地区へ大槌町から
厚い支援

五城目町を襲う記録的な豪雨被害



(山内地区)



(脇乙地区)

将来を見据え、今後に災害を起こさないため、 議会で手厚い支援を求む

「8月豪雨の被害を受けた町民の皆様には謹んでお見舞い申し上げます」
8月9日から断続的に降り続いた雨は、12日の深夜に観測史上最大となる1時間65・5mmとなり、3時間降水量102mmとなりました。
このことにより、内川川、富津内川が氾濫し、住居の床上浸水36棟、床下浸水63棟の甚大な被害となっています。
町では、浸水被害を受けた世帯への水道料、町税減免措置、ゴミの撤去などを行っています。また、農地および農業用施設などの復旧も支援しています。
また、9月14日に姉妹都市の千代田区から見舞金として100万円をいただきました。
議員の一般質問により、当局から「町でも床下・床上浸水した世帯に対して見舞金以外にも今後の被災支援を検討していきたい」と回答がありました。

(松浦 真)

災害対策へ 2億3千8百万円

9月 定例会

議会の経過

9月定例会は9月5日から16日まで12日間の日程で開かれた。

初日 渡邊町長は行政報告で「8月豪雨災害について、浸水被害を受けた世帯に水道・下水道料金の減免を行い、農地および農業施設の復旧についてはしっかりと支援していく。」

脱炭素社会に向けた取り組みに向け、まちづくり課が岩手県紫波町で木質バイオマス熱供給設備について学んできた。今後、当町においても地産地消のエネルギーで持続可能な環境を構築し、次世代が



今後の豪雨災害対策に向けて

安心して暮らせるまちづくりへ取り組んでいく足がかりとして、環境条例制定のほか、審議会委員研修など関係予算を計上する」と述べた。

2日目 一般質問には4名が登壇。豪雨災害対策、イベント中止時の対応、子ども議会、被災者に手厚い支援を、などの質問が行われた。

3～4日目 当局より、令和4年度一般会計補正予算案など19件の議案と4件の報告が上程され、各常任委員会で審査した。

5～11日目 決算特別委員会で各課室の令和3年度決算について審議。

最終日 一般質問に1名が登壇。防災対策などの質問が行われた。

決算特別委員長、各常任委員長報告の後、全議案を認定・可決・承認・報告済み、陳情1件を採択、継続中の陳情1件を不採択とした。その後、人事案件4件に同意し閉会した。

※詳細はP14を参照

定例会で可決した主な予算

- 五城目小学校学校菜園事業 1, 351万円
- 雀館運動公園整備事業 1, 930万円
- 五城目再造林推進事業 4, 323万円
- 4回目新型コロナウイルスワクチン接種事業 3, 398万円
- 図書購入費(町民による寄付分) 10万円
- 社会教育業務委託費 192万円



今後の修繕に雀館公園全体、4年計画で年2,000万ずつ
詳細はP7を参照

(松浦 真)

決算特別委員会

目標数値を策定し将来を見据えた事業改善を

決算特別委員会

委員長 斎藤 晋
副委員長 松浦 真
委員 椎名 志保
委員 石井 光雅
委員 佐藤 重信
委員 館岡 隆
参与 石川 交三
(議会議長)

決算特別委員会は9月9日から9月15日までの7日間の日程で行われた。付託された議案は、平成33年度一般・特別会計歳入歳出決算など7議案であり審査の結果、全議案を全会一致で認定すべきものとした。審査方針としては、**町民の生命財産を守り、町民の生活を豊かにし、五城目町の町民であることを誇れるように、的確に正確に予算執行がなされていたかを審査した。**議会が承認した予算がどのように執行され、町民や地域のためにどのような使われ方をしたのか、財政の現状と今後の見通しはどうかのかなど、次年度に結びつく審査とした。



7日間にわたり行われた特別決算委員会



委員長 斎藤 晋

各課への指摘事項

◆ 消防本部
専門性を高めるため、県消防学校の6課程に7名、救急救命東京研修所に1名など、計29名を派遣している。災害が増えており、署員および消防団員のスキルアップが必要であると指摘。

◆ 税務課
スマートフォン納付電子化の推進を図り、町民の利便性向上を目指すべき。また、徴収率アップのため努力が必要。
町税課税分は97%の徴収率となり過去10年の中でも直近2年は高水準で推移している。

◆ 総務課
町有施設の保守管理につとめ、譲渡・撤去など利便性も含めて管理徹底すべき。経常収支比率は昨年より3%減の88・6%、将来負担比率は昨年より23・4%減の62・3%と改善した。

◆ 生涯学習課
各地区公民館の利用促進や館長の任期、定年制の導入などを指摘。

◆ 学校教育課
コロナ対策に今後も細心の注意が必要と指摘。

◆ 建設課
建設課実施の事業ごとのKPIなど数値目標を立てること、豪雨災害など災害に強いまちづくり、橋梁の維持補修・整備に向けて国の補助などを有効活用すべきと指摘。

◆ 公園管理にもKPIの策定を
(旧五小跡地・あさひ台運動広場)



◆ 住民生活課
空き家対策の推進、ごみ量の削減を指摘。

◆ 健康福祉課
ワクチン事業など町民からの感謝の声が多く届いている。集団検診の受診率向上、民生委員の適正配置、心の健康づくり推進などを指摘。

◆ 農業委員会・農林振興課
農業人口が減る中で耕作放棄地を減らすため、農業法人の推奨と林道の整備促進を強く指摘。

◆ 商工振興課
朝市の振興、商工振興課担当施設の有効活用を指摘。

◆ まちづくり課
ふるさと納税の推進、返礼品の魅力アップ、コミュニティ形成支援事業の活動強化を指摘。

全体を通じて

・ 職員の育成
採用を抑制した時期もあり、職員の構成年代が途切れる。これまでのような年功序列で昇進するというのではなく、能力別の役職配置も必要と指摘。

・ 各課の業務量平準化へ
各課ごとに繁忙期やコロナ禍、災害などによる業務量が違うことが多くなっている。それぞれの業務量分担の適正水準の把握が必要と指摘。

・ KPI数値の策定
各地区公民館は重要性を増すものの、使用状況やイベントの開催状況はそれぞれ違う。
予算や決算の際に目標指標をKPIとして策定し、費用対効果の検証を行う必要がある。結果としてどのような成果が生み出されたのかをPDCAで検証することが必要であると指摘。

※KPI(重要事業評価指数)の重要性:
目標がないまま、事業を行うと目標への上ぶれ、下ぶれが判断できないため事業の改善(PDCA)ができない。

小学校学校菜園事業に 1,351万円



中が見える明るい玄関へ（火葬場入口）

小学校の職員駐車場に隣接する用地を、畑と水田にする工事。

主な教育の目的は

- ①農業体験活動を通し、生命や自然、環境や食物への理解を深める。
- ②栽培や収穫までを体験し、故郷を愛する心・地域社会との関係づくりを図る。
- ③勤労の尊さ・生産の喜びを知る。

などで、来年4月からは、田畑で児童が作業できる体制を整える。

委員からは「この取り組みによる学びを広く発信し、千代田区の子供が教育留学に来たくなる場所に」と指摘があった。

火葬場の改築工事が進む中、8月10日から増築部分の供用を開始している。委員からは「町民からの意見が届いている」と質疑があり、①玄関ドアの中が見えないことが不自然に感じるので、火葬前最後のお別れの焼香がやりづらい。

②水を供える時に汲み取る場所が手洗い場に見えてすぐわかない。これまで同様の方法に出来ないか。

当局から「業者と調整出来ないか相談してみる」と答弁があった。



女性目線で細やかな指導

町内の小中学生が「命の大切さ」を考えるきっかけを作る救急救命講習を女性消防団が支えている。9月8日は五城目第一中学校で講習会を実施。署員と応急手当普及員資格を持つ女性消防団員が指導

役を務めた。

委員からは女性消防団の士気を上げるため「団員数を6名から増やし、操法訓練ができるまでに成長してほしい」と指摘があった。

教育民生 常任委員会

(株)あったか五城目 厳しい経営状況続く



指定管理者として(株)あったか五城目が運営する五城館

町が50%出資する(株)あったか五城目の経営状況が報告された。

五城館の折騰・弁当などテイクアウト部門の強化、不採算部門のパン製販は廃止し店舗を賃貸するなど経営改善に取り組んだが、コロナ禍による営業時間短縮や利用減少により減収減益となり、令和3年度は285万円の損失を計上。

今後も、食材価格、光熱費の値上げやコロナの収束が不透明なことから厳しい状況は続くと思われるが、経費の節減と原価管理を徹底し、PRの強化も図り増収増益を目指すよう指摘した。

火葬場増築部分の 供用開始

環境基本条例は、環境保全に関する総合的な施策を規定したもので、現在及び将来の住民の健康で文化的な生活の確保を目的とした条例であり、「五城目町環境基本計画」を策定する義務規定を設けており、策定に際し、「五城目町環境審議会」において審議することとなっている。

環境基本計画は、ごみの増加、水質汚濁、ヒートアイランド現象、自然の喪失といった、身近な問題から、地球温暖化などの地

五城目町環境基本条例制定

球規模の問題に至るまで多岐にわたる環境問題に関し、町としての基本理念を構築し、施策を総合的・計画的に推進するために策定するものであり、環境の保全等に関する取り組み、方向性を示すものである。

環境審議会委員は、住民の代表、学識のある者、関係団体を代表する者、環境アドバイザー、小中学校長など15名以内で構成し、任期は2年と考えている。

(石井 光雅)

手つかずの公園を整備

都市公園区域の緑地の整備について「当初予算で措置した雀館公園の日本庭園の整備に伴い、雀館運動公園を4か年計画で整備することとし、今年度は町民センター、プール、体育館、多目的運動公園周辺の景観上不要な木、危険な高木を伐採・剪定、低木の処理を行う。令和5年度は木

が鬱蒼としていた公園入口を見通しが利く状態にする。その後公園前面・高台、背面の整備を行う」と当局から示された。

委員からは「専門家の視点を取り入れ公園全体のランドデザインを描くことも必要」と指摘があった。

女性消防団が活躍



護岸崩壊した小川口川

8月豪雨災害

8月の豪雨により、農林振興課関係では、農地22ヶ所、農業施設17ヶ所、林道4路線40ヶ所の災害が発生した。これらの災害査定に伴う調査設計等委託料、災害ごみ、流木、田・水路などの土砂、残骸の廃棄物処理委託料、法面崩落、路肩決壊など残土処理及び復旧のための作業委託料に用いる経費として、2億340万円を補正計上した。

建設課関係では、河川29ヶ所、町道12ヶ所の災害が発生した。これらの災害査定に伴う調査設計等委託料、土砂の撤去、破損した道路、水路などの補修委託料や機械借上料に用いる経費として、1,358万円を補正計上した。

両課とも10月から順次災害査定調査を受け、被災規模、被災額が決定しだい、速やかに復旧作業に着手する。

大雨災害から人命を守る

町長 地域防災力の向上に努める

町長 異常個所が発見された場合、補修し供用していく。水管橋は設計検討後架け替え橋と、水管の移設を。

畑澤 被災者は、天災ではなく人災だと言っている。ゴミが欄干に集まり壁を作り水位が一挙に4・4メートルまで上がり住宅を襲った。新たな

畑澤 沢山のボランティアのお世話になった。お盆休暇に



流木でふさがれた湯ノ又橋

畑澤 社会は急速にネットを基盤とした社会を作り上げた。高齢者は追いつくのに必

町民センターでパソコン教室の再開を

安心の月謝制
授業料1回(50分) **なんと 1,200円**
【別途】
機器使用料 (1回200円)
教室維持費 (1か月1,000円)
これ以外一切費用はかかりません!

自由予約制!
さらに、予約しても1時間前までなら変更可能です!

インストラクターが常駐!
だから、困らないところはすぐに質問できます!

アクセス便利で通いやすい!
最速・双生館駅前の好立地で、徒歩5分!

選べるeラーニング40講座!
繰り返し学習可能な講座が幅広く揃っています!

入会金・テキスト代不要!
だから、学習コストがグッと抑えられます!

商工会議所の安心感!
地域に密着したパソコン教室です!

パソコン教室の広告

教育長 パソコンやスマートフォン、操作が難しく、使いこなせない人が大勢いると認識している。年齢や世代を問わず、広くインターネット環境になじんでもらうため、各地区公民館でパソコン教室を開催できないか検討している。

死だ。今後の集落事情を考えると、町内会単位でネットを使える人材が必要だ。意欲のある人はたくさんいる。パソコンを習える環境作りを。

あなたにかわって
聞きました

一般質問



畑澤 洋子 (公明党)

一般質問動画はQRコードから

畑澤 夜中の大雨災害では、睡眠中に雨の音で防災行政無線を聞いた人は少ない。今こそ防災ラジオが必要と強く提案する。

町長 町では、防災行政無線、緊急エリアメール、登録制メール、Lアラート、災害協定によるヤフー防災速報アプリ、秋田ケーブルテレビなど情報発信、伝達の多重化を進めてきた。さらに情報伝達システムの一元化も進めている。防災ラジオの導入は予定していない。

畑澤 河道掘削・堤防強化・雨水貯留施設・遊水池など可能な限りの対策を。

町長 今回の例から自主防災組織の「共助」の支援が有効と考える。地域コミュニティの防災力の向上に努めていく。

もかかわらず真心を被災地へと向けていただき、感謝と感動でいっぱい。今回の経験から大工などの技術を持つボランティアは貴重だと気づいた。今後は募集要項に職種別も記載し募集を。

町長 専門性の高い作業や危険を伴う作業は、事情を説明し断ったケースもある。

一般質問

5議員が登場 我が町政を問う

一般質問とは?

- ・年4回の定例会において、議員が町政全般について現状や方針を問うものです。
- ・答弁を含む一人当たりの持ち時間は60分で、事前通告制が採用されています。
- ・質問をするかしないかは、議員個人の判断によります。

質問者

畑澤 洋子 議員

- 大雨災害から人命を守る
- 町民センターでパソコン教室の再開を

斎藤 晋 議員

- 緊急事態発生時について
- コロナ禍でのイベント及び祭りの開催中止について
- 羽後高校での給食提供を受けて町はどう考えるか
- 豪雨被害の被害状況は、復興状況は

松浦 真 議員

- 教育委員会の課題と実現内容、その分析
- 令和4年8月豪雨災害について
- 子ども議会開催に向けて
- 除雪対策会議に向けて
- 各家庭の軒先から出る樹木について

椎名 志保 議員

- 豪雨災害による被災者に手厚い支援を
- 消防団の活動、活動費について
- 今後の町の教育・保育をどう考える

荒川 滋 議員

- 災害対応と安全安心な暮らしを支える基盤づくりについて
- 学校教育について
- 重要性が増している民生児童委員の空白域解消へ

*誌面の関係上掲載できなかった●印の質問については、町ホームページにて議会映像を配信しておりますのでそちらをご覧ください。



五城目町議会映像配信 www.gojome-town.stream.jfit.co.jp

意義ある発言機会は大事な議員活動の場といえます。議会を傍聴してみませんか?

傍聴の手順をご紹介します。事前連絡は不要です。

- ①役場4階へ上がります。(エレベーターをご利用ください)
- ②議会事務局前で受け付け。(受付表に必要事項を記入 検温と手指の消毒剤あります)
- ③階段で傍聴席へ。(定員40名 現在は、コロナ禍において 定員15名としています。)
- ④町の方向性を直接聞くことができます。(開会中はお静かに願います)

※新型コロナウイルス感染拡大の防止および、傍聴される皆様の健康を守る観点から、傍聴を自粛いただく場合がございます。お問い合わせ先 議会事務局 018-852-5411

子ども議会の開催を

教育長 今年度から試行的に行う



民主主義を身近なものに

教育長 来年度以降の本格的な導入に向けては、成果と課題を検証し、遊佐町の少年議

教育長 議員が教育委員会へ一般質問された件数は約240件あり、その多くが提案で

松浦 床下・床上浸水被害の空き家は何件か。熊本県の豪雨被害でも被災した空き家の片付けができず、衛生環境の悪化が懸念されていた。五城目町の対応は。

町長 床上・床下浸水被害の空き家件数は調査中。現時点で町が把握している被災空き家は、床上浸水7件、床下浸水9件。所有者などには浸水被害があったことを情報提供している。今後、被災された空き家が放置され周辺環境に悪影響を及ぼす場合は所有者な



除排雪は地域の要

町長 (豪雨災害もあり) 令和4年度の除雪対策会議はまだ開催できていない。コロナウィルスの拡大もあり、各町内会長からのアンケート調査も検討の視野に入れなければならない。

あなたにかわって聞きました 一般質問



松浦 真
一般質問動画はQRコードから

議員提案の成果は
松浦 これまで議員が一般質問の中で提案し、教育委員会が実現した事例は直近の5年間の中で何件か。また具体例

あり、できる限り検討し実現してきた。主な実現内容としては、放課後学童クラブの終業時間の見直し、全ての児童生徒に「一人一台端末」、就学前に新入学学用品費の支給、地域図書室「わーくる」を開室し、今年8月1日に1万人の来室者を達成など。一方で、まだ実現できないものとして、部活動外部指導者などであるが、今後関係課室と協議調整していく。

除雪対策会議は
松浦 令和4年度の除雪に向けて対策会議を行うとあったが内容は。

豪雨災害のボランティア活動は

町長 ボランティアの協力で災害復旧は前進



ありがとう、ボランティアの皆さん

町長 町と町社会福祉協議会では、令和3年12月に「災害ボランティアセンター」の設置・運営等に関する協定を締結し、8月15日に災害ボランティアセンターを開設した。8月29日までに延べ410人の参加があった。県内各



家の中では聞こえませんでした

町長 防災行政無線放送は、聞き直しダイヤル機能を備えており、放送内容を再度、電話で確認できるシステムとなっており、こうした機能の周知も含め、災害情報の伝達に務める。今後は水位上昇をサイレンなどにより知らせるなどの警報機能の強化・整備について検討する。

雨の音で防災無線が聞こえない

地から駆けつけていただいた皆様には、心から感謝申し上げます。主に被災した家屋の片付けや清掃作業などについて支障いただき、災害復旧は大きく前進したと認識している。



「きゃどっこまつり」やりたかったな

町はキャンセル料払いたくないのか

齋藤 事前の取り決めで、キャンセル料は50%とする実行委員会を取り決めている。中止決定後、町の事務局は、きゃどっこ祭りのイベント出演者に対しキャンセル料に関する連絡メールに「大変申し上げにくい事ですが、イベントを開催するために補助金を拠出しており、補助金の原資が町民の税金であること、出演者の皆様にはご配慮

いただけますと幸いです」と送っているが、この文章の意味は何か。

町長 豪雨災害を受け、やむなく中止が決定され、預かった協賛金を全て返却し、準備にかかった費用全額、キャンセル料などは、基準額を50%として、支払いをしても町からの補助金で賄えた。祭りを盛り上げたい気持ちで出演・出店を引き受けてくれた皆様に対し、誤解を与える表現で有ったことをお詫びします。

- 他に
- 緊急事態の情報伝達は
 - 緊急事態の応援要請は
 - イベント謝礼の契約書は
 - 五城目高校でも給食をなどを質問しました。

被災世帯に 町独自の手厚い支援を

町長 新たに支援金の準備を進める

町長 関係機関と連携し国や

荒川 生産コスト上昇で農家の経営は一層厳しい。希望の持てる農業への取り組みは。

町長 国は補助事業適用以外は、小災害復旧事業として早期復旧を進める。

被災農地の復旧・支援をどう進める

荒川 土砂流入農地の復旧支援をどう進めるか。

町長 国の補助事業適用以外は、小災害復旧事業として早期復旧を進める。

荒川 激甚災害に指定されるほどの大被害で平時ではない今、建物、自動車、家財、農機具、敷地の損壊など深刻な被害に直面している住民に町独自の手厚い支援が必要だ。

町長 床上浸水世帯に見舞金を支給したが、今後の生活に支障があることから、千代田区はじめ全国からの善意をもとに、床上・床下世帯への生活支援金の準備を進めている。

あなたにかわって
聞きました

一般質問



荒川 滋
一般質問動画はQRコードから

町内河川の大規模改修 強力に要望を

荒川 河道変更と改修、洲ざらい(浚渫)、治山・砂防堰堤の土砂撤去と必要に応じ新設を県へ強力に要望すべき。

荒川 流木などが引つかかりやすい構造の湯ノ又橋を今後どうする。水管橋を含む。

町長 県道と町道を結ぶ重要な橋であるため点検を行い供用していく。水管橋は構造を検討し架け替える。



集成材でできたモダンな橋だが...

湯ノ又橋は更新が必要だ

県への積極的な働きかけと基盤整備事業、法人設立の取り組みをしていく。

町長 戸村堰は令和2年度に完了した頭首工の工事で可動堰になり水量制限され浸水防止の効果はあったと考える。七倉の国道285号で、県は側溝や排水樹の清掃を徹底するとしていたが、今回の冠水を踏まえ、平成29年度に行った調査結果をもとに抜本的な排水対策を練る構想である。



豪雨のたびに浸水する戸村堰沿い

現状維持の改修では同じことが起きる。

町長 県に対し河川改修事業進捗のペースアップを要望する。脇村土砂流出は堰堤の天端まで満砂し流出したものであり、県に堰堤機能強化を強く要望した。

荒川 本町部の浸水常襲地区、戸村堰緑道沿いと国道285号線(七倉)の検証は。

荒川 8月から町内各地で断続的に発生した水道の濁り。町には品質管理はもちろん、安全性の情報を伝える義務がある。今後の対応は。

町長 夏場の使用水量の増加に伴う流速の加速により本管内部の水垢の剥離が原因と考えられる。都度、本管からの排水などの対応をしている。



浴槽の底にたまった黒い沈殿物

安全安心な水道の提供のために

豪雨被災者に 新たな住まいの手立てを

町長 既存の公営住宅を整備する

町長 町が風呂釜・浴槽を設置する方向で矢場崎住宅の説明をしている。しかし、メーカーの資材・在庫不足で数ヶ月を要する状況である。暫時の措置として、入居を停止している空き住宅の風呂釜・浴槽の移設も検討している。

椎名 田畑も多く被害を受け、稲を刈り取るにも土砂や流木が入り込み、機械の入れない状況や土砂崩れで田んぼまでたどり着けない箇所も

椎名 このたびの豪雨で住家の浸水被害に見舞われ、安心して暮らせる新たな住まいを探すがいた。空きのある町営住宅は風呂釜・浴槽の持ち込みが必要であり、空き家は家財がそのまま、アパートは年金暮らしの高齢者には、高い家賃が負担だ。手を差し伸べられなかったか。

町長 町が風呂釜・浴槽を設置する方向で矢場崎住宅の説明をしている。しかし、メーカーの資材・在庫不足で数ヶ月を要する状況である。暫時の措置として、入居を停止している空き住宅の風呂釜・浴槽の移設も検討している。

あなたにかわって
聞きました

一般質問



椎名 志保
一般質問動画はQRコードから



災害時にも有効に活用を(矢場崎公営住宅)

あった。稲刈り機械など間もなく始まる収穫に使用する機械類、乾燥施設に被害を受けた方もいる。更に肥料は例年の2倍、資材も値上がる一方だ。国や県から示されていることはあるか。町として支援の考えは。

町長 国の補助災害復旧事業の適用や、小災害復旧事業として早期復旧に向け進めていきたい。被災した農作物や農業機械などの支援についても各関係機関と連携し、国や県に積極的に働きかけていきたい。肥料価格高騰に対しては、県で「肥料価格高騰対策事業」の実施に向けた説明会を行っている。

椎名 3月定例会で、少子化によるもりやまこども園の財政的窮状を伝え、少子化打開に思い切った施策を講じることや、保育料を全額無償化し、より子育て世帯の負担軽減に努めることを提言した。検討はなされているか。

空き教室の増える小学校をプレスクール(保育学校)と

今後の町の教育・保育をどう考える

椎名 被害の一つ一つを改めて検証し、未然に防ぐための対策を国・県と協議することほもちろん、水利組合や土地改良区と農業排水について話し合うなど、解決に向け積極的な動きをすべきだ。

町長 農業用水の増水による被害に対しては土のうを積むなど対策はしているが、根本的な解決に至っていない。県や各水利組合、土地改良区へ排水改良について要望している。

町長 こども園と連絡会議を開催し、学校教育課も含め意見交換している。現場の意見に耳を傾け、協議を深めていく。

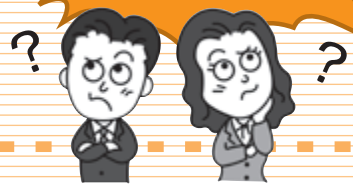
令和13年度までは小学校全年学年一斉に1クラスにはならず、転用可能な教室は発生しない。



子どもたちの声があふれるこども園へ

なんとなったべが!

令和3年9月定例会一般質問より



第3回

会議議員

全員協議会

令和4年8月23日

協議案件

- ・脱炭素化社会に向けた取り組みについて
- ・国が脱炭素ロードマップを策定し、全国で対策を進めている。五城目では環境条例制定および再生可能エネルギーの検討をはじめ。

- ・五城目町再造林推進事業費補助金について
- ・再造林に向けて植栽と下刈りの経費について補助する。
- ・令和4年度は植栽20ha下刈り10haを想定。

報告案件

- ・令和4年8月豪雨の災害について
- ・(仮称)秋田三種南風力発電所計画」説明会の開催について
- ・森山無線中継施設用道路の擁壁崩壊について

陳情と意見書

9月定例会では、1件の陳情を採択し、1件の継続中の陳情を不採択とした。

採択

◆陳情第7号
再造林を推進するため森林環境譲与税の活用を求める陳情

陳情者

五城目森林組合
代表理事組合長 石井 一夫

不採択

◆陳情第6号(継続)
沖縄を「捨て石」にしない安全保障政策を求める意見書の提出を求める陳情

陳情者

辺野古を止める！全国基地引き取り緊急連絡会
兵藤 知子

人権養護委員の

推薦に同意



石井 正氏 (72歳) 雀館 再任



小玉 久俊氏 (63歳) 雀館 新任



佐藤富貴子氏 (61歳) 西野 新任

教育長の任命に同意



畑澤 政信氏 (68歳) 矢場崎

議員研修報告

社会福祉を学び活かす

【研修名】

市町村議会議員研修

「社会保障・社会福祉」コース

【研修期間】

7月11日～13日

【研修先】

滋賀県大津市 全国市町村議会議員研修

【参加議員】

松浦 真

広報の重要性を学ぶ

【研修名】

秋田県町村議会広報研修会

【研修日】

7月25日

【研修先】

秋田県市町村会館

【参加議員】

広報議員5名

地域への逆参勤交代を

【研修名】

秋田県町村議会研修会

【研修日】

7月25日

【研修先】

秋田県市町村会館

【参加議員】

議員13名

(工藤 政彦・松浦 真)

問

街路樹管理計画の策定で安全な道を

1年前の答弁 落ち葉、落ち枝への苦情もあり今後の方針の転換を求められている。
町民の皆様の意見を拝聴する機会を設け、策定を進める。

現在 現在町に植栽されているすべての街路樹について樹木の状態を調査しており、今後実施するアンケート調査の結果を踏まえ、来年度計画を策定する予定。

問

新小学校前に押しボタン式信号機の設置を

1年前の答弁 今後も周辺の交通量などを見極め、児童の安全を考慮し関係機関へ要望していく。

現在 警察署と押しボタン式信号機の設置について協議した結果、周辺の交通状況や費用対効果などから設置はできないと回答があった。今後も見守りボランティアや地域の方々の協力を得て安全確保に努める。



子どもの安全を守る

問

企業誘致・観光振興、動きを止めないで

1年前の答弁 誘致の可能性のある企業への訪問、企業ニーズに合わせたインフラ整備や優遇制度、関連する条例の改正や奨励措置などの検討を図り、誘致交渉の土台作りを進めていく。

現在 令和4年度においては、秋田県産業労働部産業集積課へ職員を派遣し、広く情報収集を行い、他自治体の例を学んでおり、誘致の可能性のある企業に対し、入居物件の紹介を行うなど、交渉を進めている。
企業誘致が実現できるよう、引き続き、企業のニーズに合わせて、優遇制度や奨励措置などの関連する条例の改正の検討を行っている。

問

火葬場休日の見直しを

1年前の答弁 職員の休日確保は可能な状況で、待遇改善については施設の指定管理者が勘案して行くべきで、町でも助言していく。

現在 斎場職員の休暇などの待遇改善は指定管理者が勘案して行くべきと考えるが、今後も、他の火葬場の動向も視野に入れ、指定管理者と協議していく。

議会を傍聴しました

議会を通して地元を知る



中山さん
(長崎市)

初めて議会を傍聴させて頂きました、8月より*とのば大学の夏季講義に参加している高校生です。今回の傍聴で私自身、五城目町の課題などに直面し考えるきっかけになったと思っています。

課題の一つとして特に考えさせられたのは8月の豪雨災害のことです。被害に遭われた方々の実情やそれに対する支援や対応について聴きました。

一方で私の地元も2年前豪雨による被害を受けました。暮らしている町が冠水し、施設や商店、住宅の多くがしぼらくは大変な状況でした。



それらを目にして、自分一人の力では限界があることや、地域との関わり合いや大切さを感じました。

その他、教育や秋田ならではの除雪についての課題や実情を実際に聴いてみて、地域に住む一人の住民として、地域を知ることに関心する度が高まりました。

今回、五城目について触れることでより地元についても何ができるのかと考えるとても良い機会になりました。

皆さんもぜひ、町を知る一つの手段として議会に行ってみてはいかがでしょうか。

※国内の先進地域に留学しながら未来共創型プロジェクトを生み出す方法を学ぶ市民大学。

(松浦 真)

がんばってます

みんなの絆で大成功



五城目高校
生徒会長 丸山さん

私たち生徒会は、学校行事での運営や準備を通して、全校生徒が楽しく、充実した学校生活を送れることを第一に取り組んでいます。一人ひとりの個性が輝くような学校にしていきたいと考えています。

先日行われた五高祭では三年ぶりの一般公開ということで、生徒会は一か月以上前から準備を進めました。



力のこもったダンス

プログラムや看板の作成、物品の移動等、少人数ではありましたが、お互いに協力して取り組むことができました。当日も裏方として、五高祭を盛り上げる事ができたと思います。

五高祭では各クラスによるクラスパフォーマンスや吹奏楽部による演奏、演劇部による演劇、模擬店等が行われ多くの方々に五城目高校を知っていただきました。

私は、生徒会長になってから生徒会のイメージが大きく変わりました。仕事も多く、部活動との両立も難しいですが、それをすべてやりきった後の達成感や、人前に立って率先して物事を進める経験は貴重なものです。これからもより良い学校作りのために頑張りたいと思います。

(工藤 政彦)

編集 後記



このたびの豪雨により、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。平穏な日常が戻りますことを願ってやみません。

対応にあたられた役場・社会福祉協議会の職員の方々、被災地域に入り、家財の持ち出しや、家や小屋、敷地内から重い泥の運び出しに汗を流して下さった多くのボランティアの方々から感謝申し上げます。

復旧の最中、一台のキッチンカーが岩手県大槌町から駆けつけ、被災された地域住民やボランティアの方々へ、無償で食料の提供を行っていただきました。

代表の藤原さんは、大槌町の仮設住宅に配られた町からの支援米を実際に召し上がり、その恩返しにと駆けつけられたのです。

「支援から交流へ」平野大槌町長の言葉が、実際のものとなり、再び両町の絆が深まることを願っています。

皆様に心待ちにしていた、だけでもような紙面作りに、今後も励んで参ります。

議会広報編集委員

椎名 志保

